

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
幼児教育課程論 Curriculum Theory for kindergarten	児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員 担当形態
講義	2	必修	中原 久子 単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

〇コアカリキュラム：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）
 全体目標：学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。

(1) 教育課程の意義
 一般目標：学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。
 到達目標：1) 学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。
 2) 学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。
 3) 教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。

(2) 教育課程の編成の方法
 一般目標：教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。
 到達目標：1) 教育課程編成の基本原則を理解している。
 2) 教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。
 3) 単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。

(3) カリキュラム・マネジメント
 一般目標：教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。
 到達目標：1) 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。
 2) カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。

【全体目標及び概要】	
乳幼児の保育は、生涯にわたる「生きる力」の基礎となる資質・能力の“3つの柱”を培う大切な時期である。保育の目標を達成するためには、保育の基本となる、「教育課程」「保育課程」を編成するとともに、具体化した「指導計画」を作成しなければならないことへの理解を深める。なお、各年齢別の発達過程を踏まえ、計画、実践、省察、評価、改善を図る重要性を学ぶ。	
【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、幼稚園教育の全体構造を理解している。 1) 幼稚園教育に示された5領域のねらい・内容及び指導上の留意点を理解し、小学校の教科とのつながりを説明できる。	(1)-1)、2)
2) 各年齢の発達の特徴がわかり、各年齢に適した活動について討論することができる。	(1)-1)、3)
(2) 幼稚園教育における保育の計画と評価の基本を理解し、指導計画作成について理解する。 1) 幼稚園における指導計画作成の基本を説明できる。	(2)-1)
2) 長期・短期の指導計画の作成と留意点を説明できる。	(2)-2)、3)
3) 各年齢に即した指導計画を作成することができ、指導上の留意点・配慮事項など説明することができる。	(2)-3)
4) 教育課程と指導計画・実践・省察・評価・改善を説明できる。	(2)-3)
(3) 幼稚園における教育課程と、指導計画のつながりについて理解し、説明できる。 1) 教育課程・保育課程の意義やその成り立ちを理解し説明できる。	(3)-1)、2)
2) “保育の連続性”を考え指導計画を作成する力を身に付ける。	(3)-2)

回数	幼児教育課程論 授業内容 【中原久子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	幼稚園教育の基本・目標及び今日の幼児教育の在り方について	(1)-1)、(1)-2)	(1)-1)、2)、3)
2	幼稚園教育要領に示された「生きる力」の基礎となる資質・能力の“3つの柱”について	(1)-1)、(1)-2)	(1)-1)、2)、3)
3	幼稚園教育の各領域のねらい・内容・内容の取扱いについて	(1)-1)、(1)-2)	(1)-1)、2)、3)
4	「教育課程」「保育課程」について理解する	(2)-1)、(2)-2) (2)-4)、(3)-1)	(2)-1)、2)、3)
5	「教育課程」「保育課程」から「指導計画」作成の基本とその方法を学ぶ	(2)-1)、(2)-2) (2)-4)、(3)-1)	(2)-1)、2)、3)
6	乳児の特徴と指導計画について学ぶ(0～1・2歳児)	(1)-2)、(2)-3)	(1)-3) (2)-3)
7	3歳児の発達の主な特徴を学ぶ	(1)-2)	(1)-1)、3)
8	3歳時の指導計画を作成する	(2)-1)、(2)-3)	(2)-1)、3)
9	4歳児の発達の主な特徴を学ぶ	(1)-2)	(1)-1)、3)
10	4歳児の指導計画を作成する	(2)-1)、(2)-3)	(2)-1)、3)
11	5歳児の発達の主な特徴を学ぶ	(1)-2)	(1)-1)、3)
12	5歳児の指導計画を作成する	(2)-1)、(2)-3)	(2)-1)、3)
13	幼稚園教育におけるカリキュラム・マネジメントとPDC Aサイクルについて理解する	(2)-1)、(2)-4)	(2)-1)、3)
14	指導計画と教育課程・保育課程の評価について理解する	(2)-4)、(3)-1)	(2)-3) (3)-1)、2)
15	生活と発達の連続性を踏まえた幼稚園・保育所の要録について学ぶ	(3)-1)、(3)-2)	(3)-1)、2)
定期試験	実施する		
成績評価方法	毎回授業終了時の小レポート・指導案の作成(関心・思考力・表現力)30% 定期試験(知識・理解)70%		
テキストおよび参考文献	テキスト：・幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 文部科学省・内閣府・厚生労働省)、保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省) 参考文献：『保育課程論』加藤敏子・岡田耕一 編著 (萌文書林)		
メッセージなど	幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所における教育課程、全体的な計画の意義やその成り立ちを理解し、年間の指導計画や、月や週の指導計画、年齢ごとの子どもの発達や様子などに触れながら、“保育の連続性”について学んでいきましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 幼稚園教育に示された5領域のねらい・内容及び指導上の留意点を理解し、小学校の教科とのつながりを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	14%
(1)-2) 各年齢の発達の特徴がわかり、各年齢に適した活動について討論することができる。	課題を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	課題への認識の大きな誤りはなく、自分の考えを述べている。	課題に対する認識の間違いはあるが自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	10%
(2)-1) 幼稚園における指導計画作成の基本の説明ができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	14%
(2)-2) 長期・短期の指導計画の作成と留意点を説明できる。	ほぼ完璧な指導計画を作成できる。	大きな誤りはなく、ねらいに基づいた指導計画を作成できる。	誤字・脱字もあるが、最低限の基本を踏まえた指導計画を作成できる。	作成できていない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%
(2)-3) 各年齢に即した指導計画を作成することができ、指導上の留意点・配慮事項など説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	14%
(2)-4) 教育課程と指導計画・実践・省察・評価・改善を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	14%
(3)-1) 教育課程・保育課程の意義やその成り立ちを理解し説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	14%
(3)-2) “保育の連続性”を考え指導計画を作成する力を身に付ける。	ほぼ完璧に指導計画を作成できる。	大きな誤りはなく、ねらいに基づいた指導計画を作成できる。	誤字・脱字もあるが、最低限の基本を踏まえた指導計画を作成できる。	作成できていない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%